

災害廃棄物対策推進シンポジウム（概要）

資料7

テーマ：同時多発化する自然災害に備えた災害廃棄物対策のあり方とは

日時：平成29年12月14日（木）13:00～16:30

場所：砂防会館 別館会議室

参加者：約300名（地方自治体、民間事業者団体、専門家等）

目的：平成28年熊本地震等の実例を検討しながら、国、自治体、民間事業者のそれぞれの役割を再認識し、密に連携した体制を構築していくこと

プログラム：

- ・開会挨拶 環境大臣政務官 武部 新
- ・講演

「災害対応力向上のための人材づくり」

国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 大迫 政浩

「平成28年熊本地震における災害廃棄物処理に係る支援の概要」

熊本県環境生活部 環境局 循環社会推進課 課長補佐 小西 英夫

「地方環境事務所の取組～関東ブロック協議会災害廃棄物対策行動計画について～」

環境省関東地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課 課長 山根 正慎

「災害廃棄物処理における新聞社の役割」

全国地方新聞社連合会 会長 宮田俊範

「災害廃棄物処理計画の策定について」

東京都八王子市資源循環部 清掃施設整備課 主査 杉山 善昭

「備後圏域における災害廃棄物処理計画策定モデル業務の取組み状況について」

広島県福山市経済環境局 環境部 環境総務課 課長補佐 川崎 恭嗣

「鉄道コンテナによる災害廃棄物輸送」

日本貨物鉄道株式会社 環境事業部長 前田 望

「災害廃棄物対策の今後のあり方」

環境省 環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室 災害廃棄物対策官 小岩 真之



武部政務官による開会挨拶



会場の様子



D.Waste-Netの活動展示



平成29年7月九州北部豪雨災害時に導入したITを活用した情報共有システムのデモンストレーション